

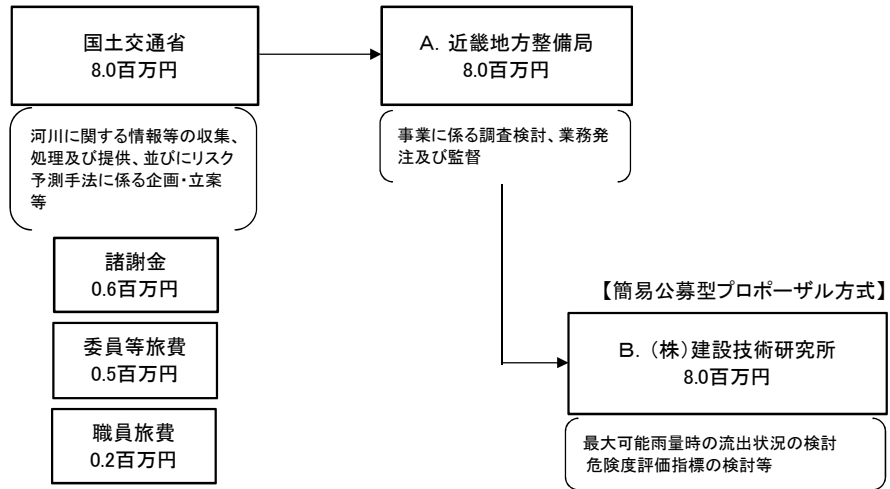
平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H24		担当課室	河川計画課河川情報企画室		室長 五道仁実		
会計区分	一般会計		施策名	12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水防法(第10条、第16条)		関係する計画、通知等	国土交通省科学技術基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)による水害や土砂災害等に対し、適切な水防活動や避難行動を支援することを目的とする							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地形データや過去の災害履歴等をあらかじめ分析し、降雨時にはリアルタイムの降雨状況から直接リスクを予測するための簡便な手法を検討すると共に当該リスク情報を効果的に提供する方法についても検討を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	-	9.9	9.6		
		補正予算	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-			
	計	-	-	9.9	9.6			
	執行額	-	-	9.4				
執行率(%)	-	-	94.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	水害・土砂災害の防止・減災を推進する		成果実績	%	61.5	集計中	集計中	64
			達成度	%	96.1%	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	降雨時空間分布危険度評価指標調査業務報告書		活動実績 (当初見込み)		-	-	9.37	- ()
単位当たりコスト	9.372百万円(実績額/箇所数)		算出根拠	成果物(実証実験を行った箇所)あたりのコストを算出				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.8						
	職員旅費	0.2						
	委員等旅費	0.9						
	水害・土砂対策調査費	7.8						
計	9.6	0.00						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	近年、増加する集中豪雨や局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)による水害や土砂災害等に対し、国民の安全を確保するための検討であり、優先度が高い
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定、競争性の確保に問題はなく、また単位あたりのコストも妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績は見込みに見合ったものであり、また成果物は十分に活用されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>支出先の選定においてはプロポーザル方式を用いるなど、競争性を確保した業務発注を行った。自治体による避難勧告等の判断や住民の避難行動を支援するため、地形データや過去の災害履歴等をあらかじめ分析し、リアルタイムの降雨状況から直接リスクを予測するための簡便な手法を検討した。H24年度は検討した手法を用いた実証実験及びその提供方法について検討を進める予定。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-1011

※平成23年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.近畿地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	局地的大雨におけるリスク監視・予測 手法検討	8			
計		8	計		0
B.(株)建設技術研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
請負費	最大可能雨量時の流出状況の検討、 危険度評価指標の検討等	8			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿地方整備局	局地的大雨におけるリスク監視・予測手法検討	8		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	最大可能雨量時の流出状況の検討、危険度評価指標の検討等	8	5	98.92%